

2017年1月5日
昭和電線ホールディングス株式会社

新年明けましておめでとうございます。年頭に当たり昭和電線グループの皆様にご挨拶申し上げます。

1. 経営環境の変化に柔軟に対応

2016年は様々な出来事が当社グループの経営に大きな影響を及ぼしました。2017年も想定を超える何か起きてもおかしくはない、大変不透明な世界情勢の中で我々は戦っていかなくてはなりません。環境の変化を逆に好機と捉え、自らが変わることにより日々の業務にまい進して下さい。

2. 中期経営計画の必達

現中期経営計画の主要施策は、構造改革と成長分野への取り組み強化です。この両輪をシンクロナイズさせ、走らせることにより、二輪車のように真っ直ぐ加速して行くことができます。構造改革に終わりは無いと考えています。企業は新陳代謝を繰り返し、筋肉質な体質を常に維持していかなくてはなりません。一方、成長分野への取り組みは、企業価値向上へ向け当社グループが強化して行かなくてはならない重要なテーマです。B to Bの市場をターゲットとしている当社グループは、先ずお客様のニーズと動向を的確にキャッチし、お客様と一緒に開発と需要を掘り起こすことが肝要と判断しています。

3. 将来ビジョンの構築

昭和電線グループの歴史と伝統を踏まえ新しいDNAをインプットし、より強靱な事業ポートフォリオを構築して行きたいと考えています。次世代に繋がる将来ビジョンを皆様と一緒に構築して行きましょう。

4. 現場力の強化

それぞれの「現場」が現場力を高めなくてはなりません。その際に意識すべきは社内ではなく、お客様側の視点です。お客様の立場に立って提案を心掛けることにより引合いを作り、一つ一つは小さくても小まめに受注を積み上げることが、利益を積み上げることに繋がるはずです。人材の確保・育成については、個社の枠を超えてグループ内の密な情報の共有化をお願いします。

5. 個の総合力

個の総合力を高めるとは、国籍、文化、価値観等が異なる相手方と現場で正面から向き合い、常に自分で考え、判断し考動出来る人間となる努力を日々怠らないということです。「個の総合力」を高めることが現場力の向上へも繋がって行くものと確信しています。

最後になりますが、2017年は昭和電線グループが競争に打ち勝つことのできる力強い企業風土へと変わる要の年です。この1年、従業員の皆様が健康に留意されつつ、元気に明るく昭和電線グループを牽引してくれることを期待します。経営陣も皆様と一丸となってこの厳しい局面に立ち向かって参ります。

昭和電線ホールディングス株式会社

取締役社長 中島 文明

この件に関するお問合せ先

経営企画部 IR・広報グループ 舘山 雄一

TEL 03-5404-6951